

## 第 124 回医療ビジネス研究会のご案内

病気になると薬を服用しますが、毎日 1g 以上の薬を服用する事や、同じ薬を生継続けることは稀であります。多くの薬は一日で代謝されて体外に排泄されますが、油脂の摂取はこれらの点に関し薬とは正反対の状況にあります。断食でもしない限り、油脂の摂取は阻止できません。油ものを食べなくとも、ご飯やパンを食べるだけで油脂は体内に入りますし、食物を摂取せず点滴だけでも入ることがあります。因って、生まれてから死ぬまで油脂の摂取は確実に続くこととなります。

一日の油脂の摂取量は薬のように mg 単位ではなく数十 g 単位です。エネルギーに変換され水と二酸化炭素で排泄されるものから、半減期が数週間を越える脂肪酸もあります。この脂肪酸はエネルギー源とうい側面だけでなく、摂取量を考慮すると薬以上の生理活性があり、薬でもなかなか突破できない脳血液関門を通過する脂肪酸もあります。油脂の本質を理解せずに、漫然と摂取することは健康に大きな影響を及ぼすことがわかってきました。それはあたかも、副作用が出ているにも拘らず、同じ薬を毎日服用し続けることと変わりません。

今回は長年コレステロールの研究に携われてきた浜崎氏より、3大栄養素の一つである脂質に関する話を伺います。脳疾患、心臓疾患など、3大死因の一つである循環器系疾患の主因は永らくコレステロールにあるといわれてきましたが、漸くその嫌疑が晴らされつつあるようです。そのことは「日本人の食事摂取基準(2015 年版)」/厚生労働省でも確認できるようになりましたが、巷ではまだまだコレステロール主犯説が根強く残っているようです。

脂質、脂肪、油、コレステロール等、日常使用されている語彙ではありますが、同義語として認識するのは要注意です。脂質の基本的理解やメカニズムから、コレステロール主犯説が長らく続いている状況や健康長寿に向けた正しい脂質の摂取方法、検診の際に目にする各種コレステロール値の理解まで、生体機能を理解し科学的根拠に基づく同氏の研究を基に解説いただきます。当研究会には 2012 年以來のご登壇ですが、社会の健康理解がゆっくりではありますが、当時同氏が示唆された方向に変わりつつあります。医療・介護関係者、食や栄養に関わる方はもとより、健康を気遣う方には是非ともお聞き頂きたくご案内申し上げます。

2018 年 1 月  
特定非営利活動法人 医療事業再生機構

### 記

- テーマ:「脂質栄養学が示唆する健康社会とは」 =コレステロールをめぐって=
- 講師:浜崎智仁 氏 医学博士 富山大学名誉教授、元日本脂質栄養学会会長、理化学研究所客員主管研究員、富山城南温泉第二病院医長、第 59 回医療ビジネス研究会講師
- 開催日時:2018 年 2 月 9 日(金曜日)18:30~20:30

以上

※ 当研究会は完全予約制です。

【要参加票】参加を希望される方は御手数ですが OMBR:(特非)医療事業再生機構のホームページよりお申込戴くか、[info@npombr.org](mailto:info@npombr.org) 宛にご連絡ください。